

東芝のリチウムイオン二次電池SCiB™をUPSに搭載し
蓄電池更新工事のないUPSシステムを実現

リチウムイオン蓄電池搭載UPS

特長

■システム概要



SCiB™監視盤

SCiB™盤とUPSの
情報を取り込み
SCiB™システムを
監視・制御

メニュー	計測	操作
<バッテリー電圧>	524 V	
<バッテリー電流>	充電 6 A 放電 0 A	
<セル電圧>	最大 2305 mV 最小 2295 mV	
<セル温度>	最高 25℃ 最低 23℃ 平均 24℃	
<運転台数>	7 台	
計測表示	バッテリー状態	バッテリーSOC
19/05/10 08:17		

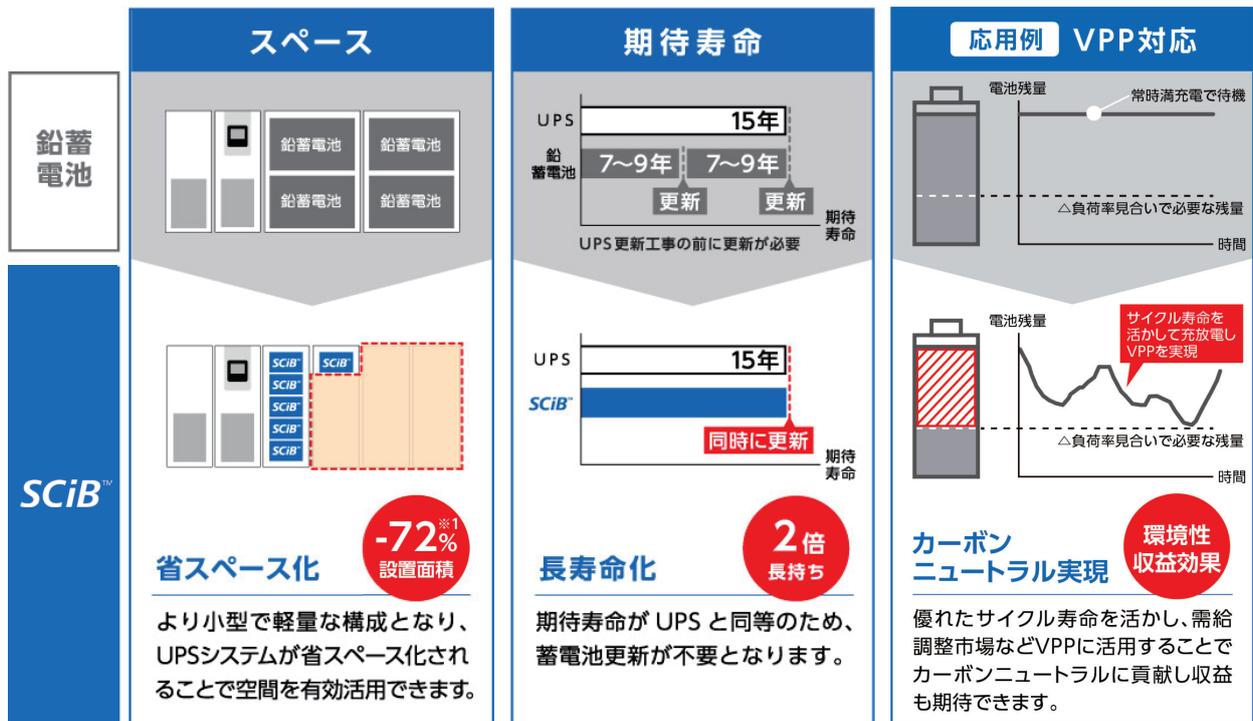
SCiB™盤

SCiB™を収納
各盤に開閉器を設け
盤単位で解列可能



■従来の鉛蓄電池との比較

東芝のリチウムイオン二次電池SCiB™をUPSへ適用した場合、従来の鉛蓄電池と比べて様々なメリットがあります。



※1：TOSNIC™-9400、500kVA、停電補償時間10分、周囲温度25℃、保守率0.8の条件で、MSE形と比較した場合

株式会社 東芝

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34 (ラゾーナ川崎東芝ビル)
社会システム事業部 エネルギーソリューション営業第一部 TEL 044-576-6635
エネルギーソリューション営業第二部 TEL 044-576-6636

● 資料の内容は断りなしに変更する場合がございますので、ご了承ください。
● 本資料は、2025年4月発行のものです。